

第15回 まちづくり町民会議

2020/7/26 PM7:00

@議場

《式次第》19:00~20:30 (90分)

- | | | |
|---|--------------|-----|
| 1 | 会長あいさつ | 5分 |
| 2 | 新委員紹介 | 5分 |
| 3 | まちづくり町民会議の目的 | 10分 |
| 4 | 本年度の目標 | 65分 |
| 5 | その他 | 5分 |
- 次回開催 8月13日(木)

配布資料

・式次第

資料1 知名町まちづくり町民会議設置要綱

資料2 委員名簿

資料3 今年度の目標

資料4 昨年度提案の施策提案一覧

本年度の目標

【目標】

- 1 現状の課題解決と、これからの町づくりに向けた施策を住民目線で提案する。
- 2 新庁舎基本設計の提言を行う。

【1 施策提案】

1 手法

- ① 7月 昨年度提案された課題の内容説明を行い、次回までにどのテーマにするか候補を選びます。(概ね3つ)
- ② 8月 全体で、協議し施策提案する3つのテーマを決定します。
- ③ 8月~10月 課題毎のグループ分けを行い施策提案内容について協議します。
(概要説明・課題の整理・緊急性等・課題解決の進め方)
・テーマに基づく既存事業の説明や、課題解決方法について共に考えるため、町職員も参加します。
- ④ 11月 全体会でグループ協議内容を発表し、施策提言書(案)のとりまとめを行います。

2 その他

- ・ 中、高校生を交えた意見交換会も予定。
- ・ 施策提案にないことでも、町民目線からかけはなれた事業について問題を検討予定。

【参考】

課題の抽出過程・方法について

- ① 石田アドバイザーから「2040年の未来の子供たちに しっかりと島の素敵を手渡したい」研修を実施し、町民会議を数グループにわけ、重要課題を5つ、未来に残さなければならぬものを抽出。
- ② 課題をとりまとめキーワードを設定。
「ゴミ、健康対策、雇用、住宅、労働力・担い手、ブランド化、結。」
- ③ 従来型：町が実施している事業で、町民との温度差がある事業について提案。
未来型：「将来こんな知名町に住み続けたい」や、「子や孫に誇れる知名町になるためには」を設定したキーワードをもとに提案。

【昨年協議事項：従来型】

- 1 介護職・保育職に特化した移住誘導事業（人材バンク制度の創設・移住支援）
- 2 シルバー人材センターについて
- 3 学びのポータル化（未来型と重複）
- 4 学びを支える学力向上推進
- 5 住宅改修費・介護予防改修費
- 6 沖永良部の綺麗な海を守ろう
- 7 百合球根振興協議会補助金
- 8 ごみの資源化等*一度協議済み
- 9 空き家等対策事業（未来型と重複）
- 10 農業研修制度の導入
- 11 子育て支援
- 12 児童虐待防止対策
- 13 高齢者見守りサポート等
- 14 時間外受付ポストの設置
- 15 高反収作物の導入
- 16 新規就農者支援、高齢者介護の為早期退職
- 17 観光宣伝・農産物販売促進

【昨年協議事項：未来】

- 1 買い物サポート
- 2 みんなの学校
- 3 定住・住宅対策（従来型と重複）

【新庁舎基本設計への提言】

*注：ヒアリングは実施、但し、ヒアリング方法について基本設計事業者と協議。

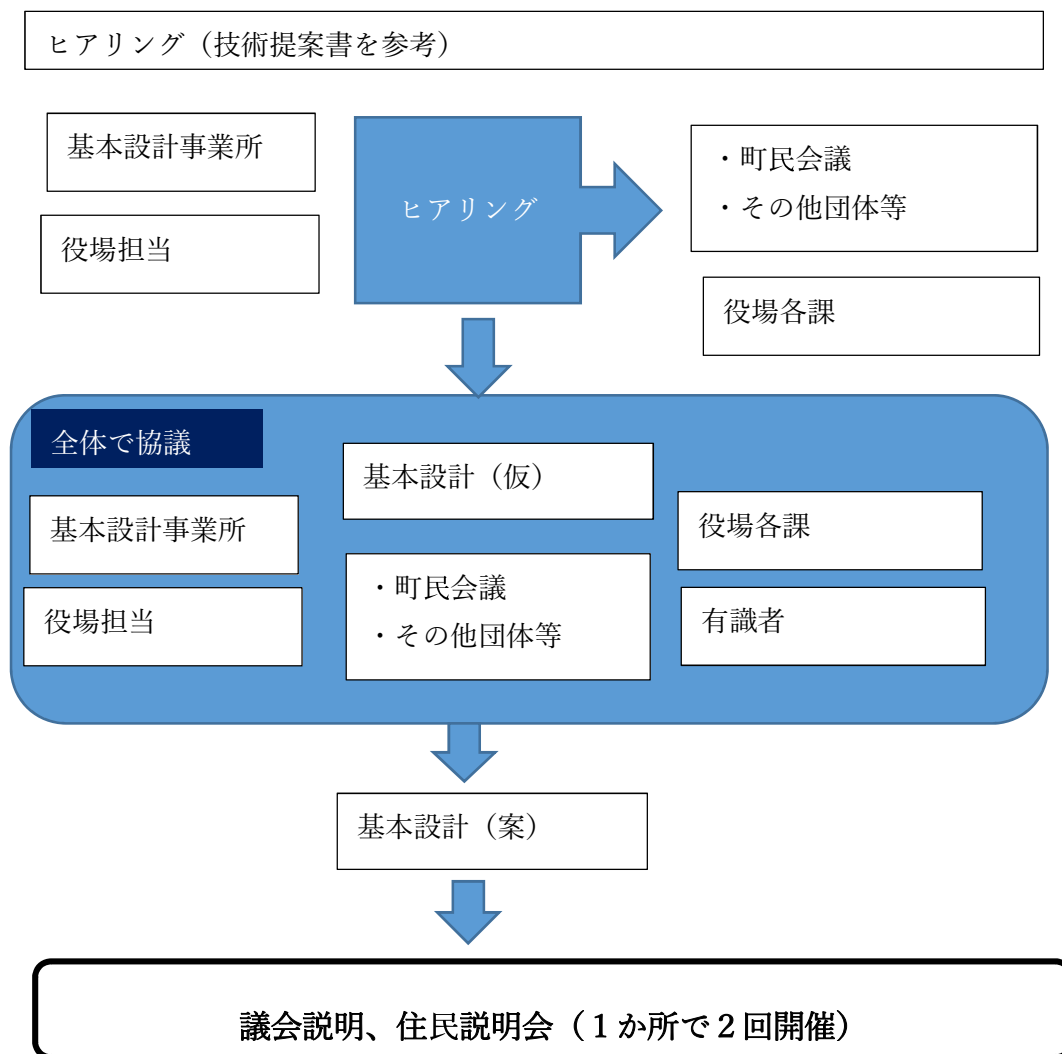
1 目的

新庁舎基本設計にあたり、対話の中で新庁舎が誰にでも使いやすく、動線がよく思いやりのある庁舎にするため各種団体へヒアリングを行う。

2 手法

町民会議（各種団体の選出）としてヒアリング、数グループにわけヒアリング

その他団体とは、町民会議委員以外の団体を想定しています。（例：障がい者・子育て世代、高齢者等）



■昨年度提案の施策提案一覧

タイトル【従来型】	温度差の内容	改善策	効果	担当課
1 介護職・保育職に特化した移住誘導事業（人材バンク制度の創設・移住支援）	人材不足（必要な職種）	協議会を設置。 住居確保。	人材不足の解消	企画振興課 関係課
2 シルバー人材センターについて	・会員の作業受託地域の偏り ・働き手不足、仕事のミスマッチ	・運営委員会の見直し ・運営の制度設計見直し ・わかりやすい情報提供	受託作業の増	保健福祉課
3 学びのポータル化（未来型と重複）	沖永良部に住んだから学べないことを減らしたいや、住んだから初めて学べたを増やしたい。	地域密着型の学びの場づくり。まちづくり活動と情報共有。	地域活性化	生涯学習課 企画振興課
4 学びを支える学力向上推進	・学校において資格試験を受験するのに条件あり。助成の有無	だれでもチャレンジできるようにする	学習意欲の底上げ、学習環境の改善につながる	学校教育課
5 住宅改修費・介護予防改修費	住み慣れた家を暮しやすい環境に改修する経費を助成する事業であるが、償還払いで生活困窮者には負担がある	改修後に、個人負担分を除く「9割～8割分」額が戻ってくるが、医療保険と同様に支払いの時点で個人負担分（1割～2割負担）を支払う	生活しやすい環境の整備充実を図る	保健福祉課 包括支援センター
6 沖永良部の綺麗な海を守ろう	海を見るとゴミがとても多く綺麗な海が台無しとなっている。 （現在は、「海はあって当然」の意識、これを「守るという意識」に変える）	ゴミを捨てない習慣と定期的にゴミ拾いの機会を設け綺麗な海を未来に残そう！	自分が暮らす島の素晴らしさの再発見	企画振興課 保健福祉課
7 百合球根振興協議会補助金	・球根等には補助があるが販売実績のある花への補助が適用されない	花農家への助成	経費負担が抑えられ生産意欲、新規就農増が期待される	農林課
8 ごみの資源化等*一度協議済み	ゴミの焼却等に対し、費用が掛かっている	ゴミの分別化、資源化	ゴミ減量 環境改善	保健福祉課

タイトル【従来型】	温度差の内容	改善策	効果	担当課
9 空き家等対策事業（未来型と重複）	店舗開業したいが情報がない。所有者がわからない。	空き家等の周知を掲示する。 空き家改修費用の助成。	居住促進	企画振興課
10 農業研修制度の導入	新規就農者への研修制度を充実し、担い手育成と経営拡大を図る	宿泊施設の整備や 通年従事計画策定や、各振興会との連携強化	農業後継者の確保	農林課
11 子育て支援	・和泊町と比較し医療助成が少なく、雨の日でも楽しめるイベントが少なく手続きが煩わしい	各制度の見直し、リーダー育成	平等感 安心感 充実感	保健センター・子育て支援課
12 児童虐待防止対策	身体的虐待以外の表面化されづらい虐待	子育ての知識等を学ぶ機会の充実	子育てに自信が持てる	保健センター・子育て支援課
13 高齢者見守りサポート等	カメラ等設置費用の問題、周知不足	システム導入	利用者の増	包括支援センター
14 時間外受付ポストの設置	役場関係のアンケート回収がおおい	庁舎入口等へポスト設置	費用の減	総務課
15 高反収作物の導入	農地に頼らない作物の導入	研修会の充実 農業委員会の機能充実	収入増、 農家数増	農林課 農業委員会
16 新規就農者支援、高齢者介護の為早期退職	農業機械の更新 介護帰省者の働く場づくり	研修会の充実 技術伝授	収入増、 農家数増	農林課 農業委員会
17 観光宣伝・農産物販売促進	沖洲会と連携 鹿児島自治会館以外の物産	販路開拓	収入増	農林課 企画振興課

タイトル【未来型】	温度差の内容	改善策	効果	担当課
1 買い物サポート	高齢者や障がい者等が自宅での自立生活に困難をきたしている	買い物サポート支援の仕組みづくり 必要な食材配達	生活自立	保健福祉課 包括センター
2 みんなの学校	学校を中心に子供の成長を見守る、困りごとがある子、ない子も一緒に学んで成長できる	個人、団体、行政で支援する組織や仕組みをつくる	どんな子供でも一緒に成長ができる	学校教育課 生涯学習課 子育て支援課 保健センター
3 定住・住宅対策（従来型と重複）	仕事や住宅を充実させ、居住者が増え活気あるまちづくり	子育てボランティアの組織づくり 公営住宅のリフォーム 空施設の利用促進	居住促進	建設課 企画振興課 子育て支援課 保健センター